

若いけど！

Vol. 19 / 2018年07月23日発行

おばちゃん通信



平成30年度に入り、私は都市部、土木部、環境政策部、港湾部を所管する都市整備常任委員、議会だよりや議会報告会を扱う広報広聴会議委員となりました。

平成30年6月定例議会一般報告より。



【土木部】「道の駅」。市は、集客を目的とする「道の駅」設置の話にあたっては採算性が重要ということで、設置エリアの可能性と事業収支見込みを検討しました。「坂本芦名線」と「三浦半島中央道路」の交差部のあたりは、用地確保や今後の交通量増加の見込みがあり、今回モデル地として、収支を検討。2030年頃の交通量見込みから考えられる集客数から計算すると、年間5千万円の赤字となる試算となりました。今後は集客の可能性を探りつつ、交通変化を把握しながら設置の可能性を探っていくそうです。

【経済部・財政部】ポートマーケット事業。平成25年3月に開業したよこすかポートマーケット。この度運営をしていたシティサポートよこすかから、事業撤退に至る検証等についての報告が出されました。店舗経営のノウハウがなかった、正確な経費の積み上げを行っていなかった、企画部門のみの運営で組織内部のチェックが働かず、対策を講じられなかった、農産物・飲食の売上げが伸びないことへの対策ができなかったこと等が、問題として挙げられました。また、出店者への対応として、撤退に伴う費用負担については、継続して協議を行うこととしているとのことでした。

【福祉部】はつらつシニアパス。現行65歳以上、半年17,600円だった市内京浜急行バス乗り放題のはつらつシニアパス。予算案時には本人負担を19,600円にし、対象を70歳以上にする案が出されましたが、議会で激変緩和措置を講じる付帯決議を出しました。それにより、今後京浜急行バスには横須賀市内のみ利用可能な新たなパスの発行をお願いし、本人負担額が現行の金額と大きく開かないように協議していくそうです。

【こども育成部】公設の学童クラブ。学童クラブ空白地域の小学校に、公設学童を整備します。そのための教室改修には約2200万円かかります。しかし今回公設学童設置予定の小学校は、児童数が少なく、いずれ統廃合の対象になりうる学校であり、多額の予算をかけて、学童のための部屋を整備することには疑問が残ります。詳細なニーズ調査をしたうえで、整備にあたっては、将来的な施設運営の観点に立って費用のかけ方を考えてほしいと思います。

放課後子ども教室。津久井小学校で月～金、16時半まで1～6年生対象の放課後子ども教室を平成30年11月1日～平成31年3月31日まで実施するそうです。

【一般質問】

問：インクルーシブ教育システム構築のため、地域における体制をどのように整えていくのか。

答：地域が一体となって、全ての子どもたちを育てていくネットワークづくりをより一層進めていくことが大変重要。支援を必要とする子どもにとっては、早期から医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携を図りながら、長期的な視点で児童・生徒への支援を行っていく。また、主任児童支援員や登下校の見守り隊業務に参加していただいている方々の力を活用し、これまでの取り組みを振り返って整理をして、集団の中でかかわり合い、そして相互理解を深める教育活動をより一層充実させ、日常的、継続的に取り組んでいくということが大切だと考えている。

問：平成28年に出された日本一億総活躍プラン及び日本再興戦略2016の中で、農福連携の推進や農業分野での障害者の就労支援、農福連携等を推進するという文言が盛り込まれ、全国で農福連携の例が見られるようになった。本市においても、農家の人手不足解消や耕作放棄地の解消、障害者の新たな雇用の場の確保や賃金向上の可能性など双方にメリットがある「農福連携」を推進してはどうか。

答：おっしゃるとおり、積極的に取り組む意味がある。そこで、現在、障害者を農業の分野で雇用する特例子会社と関係部局で、実は協議を進めているところである。



問：農福連携の「福」は狭義的には障害者を指すかもしれないが、「福祉」と捉えるとその対象は高齢者、生活困窮者、または出所した人々なども考えられる。今後、働く場としての農家、農業というものと働きたい人々をマッチングしていく、より広義の農福連携をひろげていければと思うが、いかがか。

答：それも本市の課題の一つであるというふうに理解しているので、前向きに検討していきたい。

【**県外視察**】鳥取市「ファシリティマネジメントの推進について」、岡山市「廃校活用事業について」、明石市「子育て支援と総合相談について」、会派で視察に伺いました。それぞれの取り組みは大変参考になりました。特に明石市では“子育てするなら、やっぱり明石”のキャッチフレーズのもと、様々な施策を行っており、今回は病児・病後児保育事業と、第2子以降の保育料の完全無料化について伺いました。また、高齢者、障害者、児童と縦割りではなく、複合的な課題を抱えた方がたらい回しにならないワンストップの総合相談窓口を設置した地域総合支援センターについて、設置の経緯や、そこで、働く総合相談支援員について等々伺いました。総合相談は、本市でも実施してほしいと思っており、参考にしたいポイントが盛り沢山でした。視察後、駅前のビルへ移動し、明石市の図書館や親子、子どもの遊び場や、中高生の居場所を見学させていただきましたが、こちらも本当に素晴らしい！中高生の居場所には音楽スタジオやダンススタジオ、子どもの遊び場は雨でも遊べる遊具があり、かなり魅力的でした。

おばたさおりプロフィール

1985年10月3日生まれ。平作小、池上中、横浜市立金沢高校卒業。UCLA政治学部卒業。学習塾、フリースペース勤務を経験。2015年横須賀市議会議員選挙にて5625票を得て、当選。会派：無所属みらい
移動事務所：080-1161-4031または info@obatasori.com ブログも更新中です！